| 「情報・技術科」ということで得られた成果は何ですか。 |
| --- |
| プログラミングの技術が身についた。建造物を作るときにどうやったら強い構造になるか考えることができた。 |
| ものづくりを学ぶことで考える力を身に着けることができた。 |
| プログラミングに対する知見<br>使ったことない言語の経験<br>セキュリティの仕組み |
| 通信の仕組みや、植物の育て方、ノコギリや糸のこぎりなどの工具の使い方がわかった。 |
| 情報の知識、プログラミング |
| プログラミングや情報リテラシーなど、今後の情報社会を生きていく上での基礎知識 |
| 身の回りにある、プログラミングでてきているものに気づけたし、その仕組みもある程度理解することが出来た。 |
| 普段IT端末は、自分がやりたいことや必要なことをやるために使っている。一方で、情報・技術科では、CADを扱ったりプログラミングをしたりと、与えられた課題に取り組むために色々と試してみる必要があった。そのおかげで、普段の自分なら触れないような世界に触れることができたのが大きな成果だと思う。 |
| パソコンスキルと自分で作りたいものを形にする力。授業を通して、携帯が繋がる仕組みやテレビの画素数など、日常生活における技術を知ることができた。また、プログラミングを通して、パソコンスキルと共に自分の作りたいイメージを形にすることができた。 |
| プログラミングを学ぶことによって、論理的に考える力が養われた。 |
| プログラミング・インターネットの仕組みを知ることが出来た |
| 企画力 |
| 普段目にする機会のないものを多く知る事が出来、将来の職業の幅が広がった。 |
| プログラムの仕組みを少しだけ理解したこと。自分には、プログラミングが向かない、苦手だということがわかったこと。 |
| 論理的に考えること、逆算やこうなるためにどうしたらいいかという新しい考え方を学んだ |
| 情報がどのように日常で使われているかを知れたことや、難しい分野であるからこそ、みんなで教え合いながら学習を進められたこと。 |
| 木材等の取り扱いが得意になった。<br>歯車の仕組みが少し分かるようになった。<br>プログラミングの基礎ができるようになった。<br>知らなかった植物を知れた。<br>立体グリグリや、ドリトルプログラミング等の教材があることを知った。<br>データの圧縮方法や送り方を知り、適切なものを選べるようになった。<br>文字コードのせいで文字化けが起こることを知った。環境依存文字についても分かった。パソコンの買い替え時と、データはバックアップを取っておいたほうがいいことを学んだ。 |

| 「情報・技術科」ということで得られた成果は何ですか。 |
| --- |
| 授業で得た知識から自分たちで考える力が特に得られた。例えば、構造の基本を教わったうえで割り箸でオリジナルの橋をつくるなどがあった。 |
| ・植物を育てるときの土袋には穴を開けるという知識を得たこと<br>・木材の種類やその特徴や用途について知ったこと<br>・小学校の理科で学びそびれたギアについて学べたこと<br>・鋳造を経験できたこと<br>・モールス信号へ興味を持つことができたこと |
| 現代において欠かせない情報リテラシーと基本的なコンピュータの仕組み、通信の仕組みを理解し、日常生活と重ね合わせることが出来るようになったこと。得られた知識や考え方は、情報技術者資格にて半分以上を余裕で正答できる程度であると考えられる。<br>また、基本的な図面の書き方、工具の使い方、機械(歯車)の仕組み、野菜の生育方法やそれに必要な栄養について理解し、日常生活で生かせる程度に身に着けられたこと。 |
| 5年生で行う情報Ⅰ、6年生で行う情報特論（C言語を用いたプログラミングやev3）の前駆体として、「情報・技術」という授業で行うことを知れた。例えば歯車を用いて重いものを持ち上げる、速く走るということは構造を理解するうえで重要な過程だった。実際に自転車のギアがどうなっているのかなど、身近な例も知ることができた。<br>物の構造を自分で考えてうまくいかなかったところを検討し直す、その際にも使用する道具や材料をうまく用いる必要があった。物事を考察し実行する力が身に着いたと思う。 |
| エクセルとワードの使い方 |
| ネットリテラシー |
| プログラミングの基礎、情報に関すること |
| 日々の生活の中に溶け込んでいるもの、また見えない物、例えばプログラムや建築様式などについて学ぶことができた。 |
| 問題解決力や情報の知識 |
| 身の回りの様々なモノに詳しくなった。 |
| 分析して落ち着いて考える |
| 日々の生活の中に溶け込んでいるもの、また見えない物、例えばプログラムや建築様式などについて学ぶことができた。 |
| 頭の回転の速さ |
| ネットリテラシー |
| 自分が数学などで行う計算の工夫や、普段自分が頭の中でやっている情報処理との共通点がしれて生活の解像度が上がった。 |
| パソコンの使い方 |
| 情報の知識　プログラミングの基礎 |
| ネットリテラシー |
| ネットリテラシー |

| 「情報・技術科」ということで得られた成果は何ですか。 |
| --- |
| パソコンが好きになったこと。<br>プログラミングの難しいけど達成感のある楽しさ。 |
| なし |
| コンピュータの働きを理解する基礎やプログラミングの基礎を学べた。 |
| インターネットの正しい使い方や仕組みを詳しく知ることができた。 |
| プログラミングの概要 |
| ハブ |
| 身近な機械のしくみについて |
| 情報リテラシー |
| プログラミングなどに対する理解、グループで協力して一つの目標に向かって何か行動を起こすこと。実際に体験することで、理解をはぐくむ |
| 情報リテラシーなどインターネットの使い方や工具の使い方を学ぶことができた。 |
| PCの詳しい使い方、情報リテラシー |
| 共通テストの得点 |
| インターネットリテラシーの再確認や、新たな知識、プログラミング等の論理的思考力 |
| プログラミングの体験 |
| ネットの仕組みについての理解を深めた |
| IT化について。 |
| 情報リテラシー |
| 数学の授業で得た二進数や十進数、組み合わせなどの考え方を実際に身の回りのシステムに応用する体験を詰めたこと。 |
| ソフトのプログラムのセクを見抜くこと、数学をいかに機械という物理的なもので再現するかということが考えられているかということ |
| 普段使ってる機器についての仕組みとプログラミングを組み立てる思考力 |
| 鋳造を体験することができた。<br>コンピューターやネットワークの歴史・仕組みを知ることができた。 |
| ネットリテラシー |

| 「情報・技術科」ということで得られた成果は何ですか。 |
| --- |
| 普段身近に触れている機械の仕組みやプログラミングの楽しさを知り、情報分野に興味が湧いた。また今後インターネットと生きていく上でかかせないネットリテラシーも身に着けることができた。 |
| 情報を知ることができた。今生きる上で情報についての基本的な知識は教養にもなると思うのでいいと思う。 |
| ネットワークの仕組みを知ることができたことから、ネットワークのつながりが不安定なときや繋がらない時に対処する方法を模索することができた。また、デジタル機器のものはすべて0か1で表されているという面白さを知ることが出来た。 |
| 基本的なプログラミングやエクセル |
| インターネットの仕組みを知れた |
| デジタル機器の基礎 |
| ・ネットリテラシーが身についた<br>・インターネットの仕組みや用語に関する知識がついた |
| プログラミングのやり方。インターネットという世界の危険性を知ることができた。 |
| 実生活でも役に立つようなことから、もしかしたら一生触れないままだったかもしれないようなことまで、幅広い知識や技術の一端に触れることができた。社会の中で必ず間接的に関わっている重要な要素を全く知らないままではなく、経験や知識として吸収できる大切な時間だと思っている。 |
| パソコンの使い方やプログラミングというなかなかやらないことを体験できる |
| パソコンの使い方を知ることと、エクセルなどのアプリを使うことが出来た。 |
| 基本的なパソコンソフトの操作方法。その場でこれは何に使うんだと思うことがあったが、実際卒業研究でかなり役に立った。 |
| 単純に情報が共通テストと科目として採択されたため、かなりためになったと思う。特に情報はかなり実践よりの授業だったこともあり、いい授業であったと感じる。 |
| nai |
| 今まで全く情報関連には興味を持ってこなかったが、情報Ⅰの授業の学校のネットワークを作ろうというグループの活動がきっかけになって情報関連のことにも興味を持つようになった。また、大学でも触れてみたい。 |
| 日常生活で使っているものがどんな風にできているのか（プログラミングの仕組みやwebサイトの仕組みなど）を知ることができた。メディアを使う上で気をつけなければいけないことなども知ることができた。 |
| 特になし |
| インターネット通信の仕組みや、コンピューターの仕組みなどを学べた。 |
| パソコンに立ち向かう力。 |
| プログラミングをする能力、基本的なパソコンの使い方と、情報についての基礎知識、モールス信号など、多様なメッセージの伝え方 |
| 身の回りにあるインターネットなどの大まかな情報を知った。また、木の切り方なども知った。 |

| 「情報・技術科」ということで得られた成果は何ですか。 |
| --- |
| 情報通信の仕組みや、プログラミングのアルゴリズム、パソコンの内部の仕組みがわかりました。 |
| インターネットや情報通信に関する基礎知識を学んだり、崩壊しにくい建築物の構造を考察したり、エクセルの使い方の基本を学んだりすることができた。 |
| 生活している中で、ふと身の回りにある物の構造や仕組みに興味を示せるようになった。<br>物理的なものやプログラミングという文字まで、さまざまなものを組み合わせて一つのものになっていくことから、物事の複雑さを理解しようとするようになれた。 |
| 情報や技術はあまり好きではないので、普段は知れないことをたくさん知れました。例えば、5年のメールアドレスの意味やWi-Fiを学んだときに、フリーWi-Fiの危険さを知ってそれ以来フリーWi-Fiに繋げなくなりました。また、メールアドレスの英数字の意味を知れて興味深いなと思いました。他に印象に残っていることは、プログラミングをしたことです。自発的には絶対にやらないけど、わかりやすい説明をもとにロボットを動かしたり、パソコン上で動かしたりするのが楽しかったです。プログラミング力がついたと思います。 |
| パソコンを扱えるようになった |
| 植物の育成やDIYの経験を積み、コンピュータや情報通信に関する知識、基本的なプログラミングスキルなどを習得することができた。 |
| パソコンを使うのに必要な知識や情報を学ぶことができた。<br>AIを使いこなすために必要な情報を知ることができた。 |
| ハードウェアとソフトウェアの両方についての知識を学ぶことができた。 |
| 世の中のデータの仕組みや技術的な側面に関する知識と理解 |
| 共テの知識 |